

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2396100071
事業所名	グループホームあかり(みよし苑)

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2) 近隣の方からは、季節の野菜や花などが届くなど、地域でホームを気にかけてもらっている。コロナの5類感染症移行後も、すぐにはコロナ禍以前の様には戻ることにはできていないが、少しずつ進捗している。今年の夏は地域の花火大会を駐車場を開放し、利用者と家族、地域の方も一緒に花火鑑賞を楽しむことができた。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3) この1年は6回全てを书面開催にしている。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行後も、感染の状況を見ながら開催方法を検討し、市に相談して決定している。身近な関係者のみで会議を開催し、ホームの運営報告を基に議事録を作成してメンバーに配布し、意見を募っている。市への提出も同様に、口頭での報告も行い、意見を聞いている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4) 市の担当部署とは、ホームの運営に関わる相談・報告を通じ、適切に連携している。認知症サポーター養成講座の講師を受託し、正しい認知症に係る理解を啓蒙している。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6) 家族との距離は近く、忌憚なく話し合える関係にある。家族から出される意向や要望に対しては、常に真摯な対応に努めている。一例としては、「入居している家族に差し入れしたい」という意見に対して、コロナで自粛するばかりではなく、方法の工夫を話し合い、本人と家族の満足につながるように解決している。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○ ○ ○
総合評価			○

【備考欄】

この1年は6回全てを书面開催にしている。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行後も、感染の状況を見ながら開催方法を検討し、市に相談して決定している。
--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							